

---

受付番号

31

---

承認番号

大歯医倫 第 110872 号

研究課題名

ノンメタルクラスプデンチャー治療経験有無による歯科医師の意識調査

研究責任者

岡崎 定司

申請者

佐藤 航

所属

欠損歯列補綴咬合学講座

所属

歯学研究科 欠損歯列補綴咬合学専攻

職名

主任教授

職名

大学院 1 年生

申請の概要

---

高齢化が進むにつれて義歯の需要は年々高まり、患者の QOL 向上の手段として義歯は必要不可欠な補綴治療といえる。しかし、欠損歯数が増加すれば、前歯部に維持装置を設置する必要があり、審美性を著しく低下させる。近年、金属色ではなく歯肉色に近似したレジン製のクラスプで構成されるノンメタルクラスプデンチャーの臨床での使用が増加している。しかし、この義歯は機能性や予後に問題が多く、現在において補綴学的な見地に基づいた設計や適応症例の選択基準が明確にされていない状況にある。そこで、臨床経験の有無により、歯科医師がノンメタルクラスプデンチャーに対してどのような意識の相違を持っているのか、またノンメタルクラスプデンチャーの現状や問題についてアンケート調査を実施する。本研究によって、今後の臨床応用の改善に役立たせることができるとともに、患者の補綴治療の選択肢の一つが増えるものと期待される。